

平成28年11月11日、経営者部会(高岡国土部会長)は、講師に全国経営協制度・政策委員会の菊池俊則氏(社会福祉法人 若竹会事務局長)を招き標記研修会をマインドーム大阪で開催。定員を大幅に超える約500人が参加しました。

菊池氏はまず「課税の議論はまだ終わってわけではない」としたうえで、「法改正への社会

改正法を生かした社会福祉法人の経営を

～「平成28年度都道府県経営協社会福祉法人制度改革対応セミナー(後期)」開催～

福祉法人の対応が注視されていることを常に意識しておくことが重要である」と説明しました。

その中で、全国経営協として推進している都道府県域における社会福祉法人等の連携による公益的な取り組みについて「本年度の調査で、全国で

は今後の取り組み予定まで含めると90%以上取り組みが進んでいる」と報告し、「この法改正を、さらに社会福祉法人らしい経営を展開するチャンスととらえ、アクションプラン2020を活用し取り組んでいただきたい」と講演を締めくくりました。

セミナー後半では全国経営協事務局から今後発出される予定(11月11日発出)の政省令等に含まれるであろう内容等を踏まえて具体的なスケジュール等の説明がありました。

全国経営協としてはこれらの改正に対応するための支援ツ

仲良く楽しく ともに自立を!

ルを順次開発をしており、「会員であれば適宜HPからこれらを手入れ活用することができ。また、サポートデスクを設けて個々の会員の質問にも対応し

ていく」とのアナウンスがありました。 ※活用については全国経営協のHPの会員法人情報公開ページからログインしてください。

盛りありがとうございました。

大阪府内の救護施設利用者が、ダンスや演劇、合唱などを披露し競い合う「第17回大阪救護施設合同文化事業。パフォーマンスコンテスト」が11月8日(火)太閤園で開かれました。



熱気あふれる演技の様子(みなと寮)

もに自立を!」をテーマに、日々練習を重ね成果を発表する場となっています。ステージでは、生き生きと発表する姿が見られ、終了後も「楽しかった!」と声があがりました。 また、作品展も実施され、手芸や絵画など、個性豊かな作品が並び、多くの方が立ち止り、じっくりと作品をご覧になっていました。

採点では、ソーラン節を披露したみなと寮が優勝、劇と踊りを披露した三恵園が準優勝、フラダンスを披露した高槻温心寮が第3位となりました。

作品展ではさまざまな陶器を制作した賀光寮が最優秀賞を受賞しました。

母子施設部会 母子生活支援施設を知る。 司法修習生を対象にした 施設見学!

10月25日、大阪弁護士会のプログラム「人権活動の現場から」に協力する形で、司法修習生17人が南さくら園(竹内一利施設長・母子施設部会長)を見学しました。

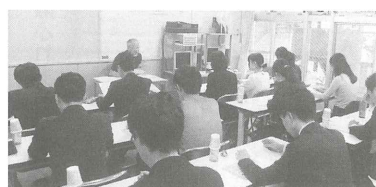
冒頭、施設の運営状況、母子支援の現状、支援の概要について竹内施設長から説明があり、その後は、居室、相談室、学習

室、保育室等施設の有する機能について具体的な事例を交えながら見学会を行いました。参加者は施設の役割について熱心に聞き入り、説明会の最後には、たくさん質問がきました。

「いつか皆さんがお仕事をされる時、こういった施設があることを覚えておいて役立ててほしい」と竹内施設長。母子生活

支援施設には、DVを理由に入所するケースが6割以上あり、弁護士の方と連携する機会も少なくありません。

「施設のことをもっと知ってほしい」という思いから実施した見学会は施設にとってのも修習生にとってもたいへん貴重な機会となりました。



施設の役割について学ぶ司法修習生の様子



会員専用ページのパスワードと電話番号を入力

※情報公開ページの法人IDとパスワードとは異なる

©全国社会福祉法人経営者協議会 2016